

牧田 亨介

まきた りょうすけ

牧田 亨介 Ryosuke Makita

健康科学部 リハビリテーションが学科 作業療法学専攻 准教授

学歴・学位

名古屋大学 理学部 分子生物学科 卒業

名古屋大学大学院 理学研究科 分子生物学専攻 博士前期課程 修了 修士（理学）

名古屋大学大学院 理学研究科 分子生物学専攻 博士後期課程 満了 博士（理学）

主要職歴

平成9年4月～昭和11年3月

科学技術振興事業団 CREST 研究員

平成11年4月～平成13年5月

理化学研究所脳科学総合研究センター 研究員

平成13年6月～平成15年3月

熊本大学発牛医学研究センター 日本学術振興会特別研究員

平成15年4月～平成20年12月

東京大学大学院医学系研究科 リサーチフェロー 他

平成21年1月～平成24年3月

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 助教

平成24年4月～現在に至る

広島都市学園大学健康科学部 准教授

専門分野

解剖学、生理学、分子生物学

主な担当科目

解剖学、解剖学実習、生理学、生理学実習、公衆衛生学（リハビリテーション学科）

人体の構造と機能 I（看護学科）

研究テーマ

ひとこと

その他（所属学会・団体）

日本法医学会、日本分子生物学会、日本発生生物学会

研究活動

学術論文

1) The sarin-like organophosphorus agent bis(isopropyl methyl)phosphonate induces ER stress in human astrocytoma cells. (共) [Arima Y, Shiraishi H, Saito A, Yoshimoto K 他6名] J. Toxicol. Sci. 41号 pp.617-625 2016年

2) The Sarin-like Organophosphorus Agent bis (isopropyl methyl)phosphonate Induces Apoptotic Cell Death and COX-2 Expression in SK-N-SH Cells. (共) [Arima Y, Yoshimoto K, Namera A 他3名] 広島医学雑誌 65号 pp.1-8. 2016年3月

3) Acute intoxication caused by overdose of flunitrazepam and triazolam: High concentration of metabolites detected at autopsy examination. (共) [Namera A, Makita R, Saruwatari T 他2名] Am. J. Forens. Med. Path. 33号 pp.293-296. 2012年

その他（学会発表等）

1) サリン曝露後の身体的・精神的自覚症状に関する研究発表 公開フォーラム「サリン事件から20年～民間団体ができたこと・できなかったこと～」 2015年3月15日

2)

3)
